

	アクションプランの進行管理の観点から、令和6年度事業内容に対するご意見・ご提案	回答
1	アクションプラン基本方針1、2について、概ね達成できると感じる。	
2	アクションプラン基本方針1について、情報発信は短期のサイクルでその手法の反応や効果を検証し、その結果により継続か次の打ち手の検討、実行へつなげていく必要があると考える。	観光創造ビジョンに基づき、PDCAサイクルの考え方で進行管理に努め、各事業の評価を委員会でお諮りいたします。
3	アクションプラン基本方針3の受入体制整備の各手法・取組みは妥当と感じるが、これらの取組みと並行して、地域の方々に観光振興、誘客増が自身の実益（経済的側面に限らず）や地域へのさらなるプライド・愛着向上につながる実感を得ていただくような仕掛けも必要と考える。	観光創造ビジョンに基づき、いただいたご意見を実現できるような持続可能な観光振興を推進することを目指して取り組んで参りたいと考えます。
4	アクションプラン基本方針3-②について、観光客の受け入れ対策と併せて、想定できる観光公害への対策を予め講ずる必要があると考える。各地でオーバーツーリズム問題が顕在化してきたが、ますます深刻になりそう。インバウンド観光客だけでなく、国内からの観光客も念頭に置いて対策を練らなければならないと思う。	前期では認知度向上を念頭に置いており、コンテンツ開発等と並行して、生活にも配慮した観光地としての受入体制の整備・充実を図って参ります。
5	全体を通じて、隣接する地域と一体となった情報発信やプロモーションの実施、周遊ツアー等の企画を行うことで、より集客につながるのではないかと。	KIX泉州ツーリズムビューローなど、近隣自治体と一体となって事業に取り組んで参ります。
6	各取り組みにおいて、目標の数値化が可能なものは明確に示した方が、取組結果を評価しやすいのではないかと。	改めてシート内に定量的な数値目標を記載いたしました。
7	アクションプラン基本方針3-②（シート11）について、生活にも配慮した取り組みになっていないように感じる。	基盤整備を実施していく中で、その事業において市民の暮らしの質に配慮したインフラ整備等を実施します。例えば、案内板を整備する際には、設置場所について周辺住民の方の迷惑にならないように配慮する等、整備を図るうえで、市民の生活に影響が出ないように取組みます。
8	アクションプラン基本方針1-①について、情報発信について、若年層へはSNSの活用などデジタル媒体の活用は有効であると思うが、高齢者はまだまだ紙媒体での情報発信が有効と考えられるので、配信方法や配信場所、タイミングなどバランスを検討しても良いと感じる。	観光マップ等、紙媒体で作成し、各所への配架等を実施します。また、多言語版の作成や、デジタル化での発信とあわせて実施します。
9	外国人旅客は関空から入っても大阪・京都に素通りされるケースが多いと思うが、現在はやっている体験型の観光素材を増やし、目的地に岸和田を選択していただけるような取り組みが必要と感じる。例えば、アクションプラン基本方針2-①のだんじり文化の通年観光の促進で、外国人にも体験してもらえるようにミニだんじり曳き回しイベントの外国人設定を行えないか。	国内外問わずコンテンツの充実を図り、それぞれのターゲットに応じたプロモーションやコンテンツの開発に努めます。
10	今年度の3つの基本方針について、アクションプランを体系図として全体像を示した上で、各事業の取組みと概要が整理されているのは分かりやすくて良い。 一方で、新観光創造ビジョンにおいて、中長期視点（KGI）での今年の立ち位置を意識する必要がある中、目指すべき定量的な目標が書かれていないため、意識の差異が発生しやすく、年度終了後の総括にあたって課題共有がされにくくなる懸念がある。目指す成果には具体的な目標値を示した方が良いのではないだろうか。	6に同じ
11	シート6について、目指す成果を上げるためには特に祭礼町会、年番の協力が絶対必要である。充分な話し合いをお願いしたい。	協議し、協力体制を築いて参ります。
12	アクションプラン基本方針1-①（シート1）は重要な戦略であり、概ね達成できると思う。岸ぶらのターゲットを明確にすることで、SNSとの効果的な連動も可能になると感じる。	記事ごとにターゲットに応じた、SNSと連動した発信に努めます。
13	アクションプラン基本方針1-②（シート2）について、概ね達成できると感じる。参加者の細かいデータを収集・分析することで今後の観光コンテンツの構築に繋げることができるのではないかと。	事業ごとに属性やニーズ等の把握に努めます。
14	アクションプラン基本方針1-③（シート3）については、フィルムコミッションを推進する際の岸和田市としての強みを明確化することで、さまざまなチャンスに繋がるのではないかと（反対に、明確にならないと、推進しても実績が伴わないのではないかと）。	過去の実績を分析し、本市の強みを洗い出し、今後の制作会社への働きかけに努めます。
15	アクションプラン基本方針1-①（シート4）は、概ね達成できると感じる。PRブースにて、海外の人が岸和田市の何を評価するのか、だんじり祭りに興味を示す国はどこか、など調査をすることも重要ではないかと。	PRブースにおいて、ニーズの調査を実施してまいります。
16	アクションプラン基本方針2-①（シート6）は、重要であり、概ね達成できると感じる。だんじり祭をだんじり文化にしていけるための施策をもっと展開していくべきではないかと。	祭礼団体への協力依頼のもと、実施してまいります。
17	アクションプラン基本方針2-③（シート8）は、概ね達成できると感じる。イベントに興味を示す人を分析し、その人たちに向けた観光戦略を考えても良いのではないかと。	各種事業において、アンケート調査などを実施してまいります。
18	アクションプラン基本方針2-④（シート9）は重要であり、達成できると考える。この先にシマノがある堺市との連携を含めたサイクリングイベントの展開があっても良いのではないかと。	KIX泉州ツーリズムビューローによる広域的なサイクルイベントを実施予定です。
19	アクションプランの進行管理の観点からは、全面的にインターネットを用いた情報網の構築を積極的に進めるべきであると考え。例えば、アクションプラン基本方針1プロモーション強化では、観光コンテンツの情報発信が観光客を集めるためには重要である。	基本的な観光情報を丁寧に発信するためにも、岸和田市観光振興協会公式サイト「岸ぶら」をリニューアルし、効果的な情報発信等に努めます。

	各委員及び委員所属団体として、各事業をより効果的に実施するためのご意見・ご提案	回答
1	アクションプラン基本方針1ー①海外への情報発信強化について、関空に到着後ではなく発地(旅マエ)でのPR、誘引が基本と思うが、関空への至近性から最終離日日の空き時間の楽しみ方、過ごし方のご提案という面にターゲットを絞った誘引方は有効ではないかと考える。	ターゲットに応じて、そのような誘引の手法によるPRを実施してまいります。
2	アクションプラン基本方針2のだんじり文化の活用について、だんじり祭とその文化をコンテンツとして打ち出すには、何らかの体験もキーポイントであり、現状の排他的イメージはネックではないかと感じ、その払拭が課題と考える。	だんじり小屋巡り等を通じて、正しくだんじり文化を発信いたします。
3	アクションプラン基本方針2の特産品、食の活用について、桃、水ナス、水産物はじめ、ご当地ならではのかつブランドになるアイテムが豊富と感じるので、それらの文化のストーリー性の打出しや他ではできない唯一無二の体験を通じた高付加価値化による観光消費増大の余地があると考えます。	日帰りバスツアーをはじめ、食観光を推進する本市ならではの事業を展開してまいります。
4	アクションプラン基本方針1ー①岸ぶらのリニューアルについて岸和田市観光が初めての観光者向けの視点も取り入れる。開いてすぐ、わかるところに観光スポットを配置。岸和田観光スポットを写真と簡単な説明文でスクロールして見られるように。モデルコースをいくつか提示。岸和田市ウェブサイト、他のサイトの観光スポットについて、項目別よりスマホ対応でスクロールして見られるように。写真等を変更するように提案。	本市の基本的な観光情報サイトとして、正しく情報発信をするための仕様としてまいります。
5	アクションプラン基本方針2ー①、3ー③について、祭礼団体の理解と協力を頂くことは当然だが、他にいわゆる「だんじり産業」に関わる方々や事業者の理解と協力を得ることが大切だと思う。岸和田市内のすべての祭礼地区に対しても協力を依頼することが重要だと思う。全市を挙げて、全市一体的にという形が望ましい。だんじり会館の機能の一つとして、だんじり祭の調査研究を積極的に進め、調査研究拠点としての役割を担うことを加えてもよいと思う。	だんじり講座において、市内全ての地区での実施に向けて調整しております。 だんじり会館は、だんじり文化を次世代へ継承していくための施設であると考えております。
6	インバウンドの誘致に関しては、空港でのプロモーションのみならず、多くのインバウンドが滞在している泉佐野・りんくうタウンエリアでのプロモーションに力を入れてみてはどうか。ホテルとのコネクションはあるので、協力が可能。	実施に向けて協力をお願いしたいと考えます。
7	隣接する地域と一体となった取り組みでは、岸和田市長が理事長をされているKIX泉州ツーリズムビューローをより利用してはどうか。	広域的な連携が重要であると考えておりますので、KIX泉州ツーリズムビューローと連携してまいります。
8	アクションプラン基本方針1ー①(シート1)について、弊社では関西国際空港の島内事業者に対してメールで観光関連情報の発信の協力ができる。	実施に向けて協力をお願いしたいと考えます。
9	関空にはカプセルトイレ(ガチャガチャ)コーナーが多数用意されているが、岸和田の各だんじりのミニチュアを商品化できないか。	事業者に対して、積極的に取り組みができるような機運を醸成します。
10	関空まで(から)の通過点で立ち寄ってもらうのではなく、だんじり体験や特産品の収穫体験などを織り交ぜ、宿泊型の旅行プラン(モデルケース)を設定して宣伝告知してはどうか。	立ち寄り観光だけでなく、最終目標として取り組みができるようなコンテンツ開発等に努めます。
11	大阪関西全体を俯瞰してみると、関西空港から大阪市内方面に今年も1000万人近いインバウンド観光客が移動することになるが、これまで岸和田にはそれに見合う数が降り立っておらず、ポテンシャルがあると考えられるべき。大阪観光局としては、観光客の志向を分析しながら泉州広域での役割分担を見据え、岸和田ならではのさらなる特長や立寄って頂く必然性をどうストーリーづけられるか、知恵をご一緒に出していくとともに魅力の発信にも努めて参りたい。今年は大阪DCプレキャンペーン、ツーリズムEXPOジャパン東京開催などの機会を有効に活用頂き、来年開催の大阪関西万博をフックにして観光客の滞在時間増加、観光事業者の生産性向上に資する来訪時期の平準化など、持続的な観光に資するよう頑張って参りましょう。	実施に向けて協力をお願いしたいと考えます。
12	小学生対象のだんじり絵画コンクールの再開を目指し、岸和田城絵画コンクールと合わせ入賞作品をだんじり祭うちわとして作成、テレビ岸和田の協力してもらいだんじり祭時に放映を依頼。年番の本年スローガン「子どもたちへ伝える。祭が繋ぐ」と「躍動の瞬間」とマッチするのではないかと。	だんじり文化を次世代に継承する事業として検討して参ります。
13	岸和田市はだんじりに頼りきっており、「食」分野での観光コンテンツが弱いことである。特産品と呼ばれるものはたくさんあるが、その魅力を十分に発信できていない。市の政策はだんじりの観光客集客に頼り、食分野に注力していないようにも見える。だんじりは一つ目の意見で述べたように、短期的な集客には有効であるが長期的にみると特産品も充実させるほかない。少子高齢化が進む中で、いつまでだんじり祭りが存続するのも予測できない。そのことも踏まえると事業承継も進める必要がある。そして、事業者との連携を早急に進める。	本計画では、だんじり文化だけでなく、食観光の推進や、歴史資源を活用したコンテンツの開発、またそれらを周遊するような事業展開を実施するにあたり、事業者等と連携した取組みを実施してまいります。